

子どもたちの耳と音の風景

金沢学院短期大学 講師 嶋田 容子



ある園の園庭で、夏の夜に子どもたちとたき火を囲むイベントがありました。その日のルールは、みんなひそひそ声で話すこと。パチパチと薪のはぜる音、ひそひそと、ワクワクと心を弾ませる子どもたちの息づかい。その夜の音は、子どもたちの心に、音の原風景として残るように思えました。

「聴力」は同じであっても、感じとる「音の風景」は人それぞれです。たとえば雑多な BGM や放送音などでざわつく店舗で、うるさいと感じる人もあれば、活気があって良いと感じる人もいるでしょう。

ところで、子どもと大人ではそもそもの「聞こえ方が違う」ということを、ご存知でしょうか。大勢の声でざわざわとにぎやかな場所でも、大人は目の前の会話を聴き取り、周囲の話し声やすぐそばのテレビの音などを「無視」することができます。それは、私たちの聴覚に備わった仕組みであり、普段から自分では意識せずにしているのです。ところが、子どもは大人とは違い、ほとんどすべての音を無視できずに聴いてしまいます。ひとたび雑音が混じると、そこから必要な音だけを聴き取るということが、子どもにはとても難しいのです。ですから、もし保育室が大勢の声の響くにぎやかな空間であれば、それは子どもたちにとっては、人の声や言葉がとても聞き取りにくい空間だと言えます。

したがって、子どもにとっての「音の風景」は、大人のものと大きく違っているはずなのです。保育の音環境を考える上で、このことは見逃せません。

さて、皆さんの園では、保育室やホールなどが、残響で互いに会話のできないような音環境になってはいないでしょうか。幼稚園教育要領にも保育指針

にも、聴こえや音環境についての記述はとても少なく、設計上、不要に音の響く条件になってしまっている例は少なくないのです。私たちが自ら耳を澄まし、できることから変えていく必要があります。室内にやわらかいマットや布などを取り入れるだけでも、その吸音効果で音環境は変わります。

筆者を含め関係研究者が現在、各地の園で音の大きさ測定や騒音環境での子どもの行動についての調査、そして音環境改善への提言をおこなっています。ただ、一人ひとりの研究者がそれぞれに対応するには限界があります。そこで、この問題に長年取り組んでこられた埼玉大学の志村洋子名誉教授が中心となり、「(仮称) 保育施設の室内騒音環境改善協議会」の設立が現在企画されています。この協議会は、保育・建築・音響・医学などの専門家グループと、赤ちゃん学および建築設計に詳しいコーディネーターが、音環境に困りごとのある保育施設の相談に乗り、音環境改善をサポートするものです。

もちろん、実際に保育の空間を変え、子どもたちの豊かな経験を創出することができるのは、日々子どもたちと暮らし、その環境を支えている先生方です。音環境について研究をおこなっても、保育実践とのつながりがなければ十分な成果とは言えません。ですから、私も調査・報告の立場にとどまらず「では、明日の保育で何をすればよいのか」を先生方と一緒に考え、保育の音の風景の創出に取り組んでいきたいと思っています。何だか音が響きすぎるな、と感じておられる園の先生がいらっしゃれば、ぜひお声かけ下さい。

● 4.26 常任理事会

幼児教育無償化への対応について協議

4月26日、東京・私学会館において、全日私幼連常任理事会が開催され、25名が出席しました。

四ツ釜雅彦副会長による開会の言葉、香川敬会長による挨拶の後、議長に尾上正史副会長、議事録署名人に安西透常任理事と徳本達之常任理事が選任され、議事に入りました。

■審議案件（1）：平成30年度事業報告について

坪井久也総務委員長を始め、各委員会委員長より説明があり、全会一致で可決されました。

■審議案件（2）：平成30年度収支決算及び会務監査報告について

坪井久也総務委員長より決算の報告があり、佐藤三幹監事より監査報告が行われました。

■協議案件（1）：幼児教育の無償化について

岩田知也全日私幼連専務理事より、幼児教育無償化への対応についての詳細な説明があり、全会で検討確認を行いました。

■会務運営報告について



各委員会の委員長、プロジェクト座長から、会務の進捗状況について報告がありました。

■（公財）全日私幼研究機構からの報告

加藤篤彦教育研究委員長より、幼稚園教諭等（民間）のキャリアアップ研修の要件に関する三府省合同通知の進捗状況について報告がありました。

最後に小澤俊通副会長の閉会のあいさつで常任理事会は終了しました。

（総務委員長・坪井久也）

\\ 創刊10周年! //

地域で愛される園になるためのサポートブック



園のリーダーのために
保育ナビ



2019年6月号

定価：本体価格 926 円＋税

●特集 イギリスの先進研究事例から、幼児教育・保育の質向上を考える

昨秋、東京と大阪で開催された特定非営利活動法人全国認定こども園協会10周年記念事業で、幼児教育の世界的な研究者であるエドワード・メルウィッシュ先生（オックスフォード大学）による記念講演と東京大学大学院教授 秋田喜代美先生との対談が行われました。イギリスの先進研究事例から、幼児教育・保育の質向上を考えてみましょう。

B5判 72ページ
ISBN978-4-577-81458-1 726

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <https://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレーベル館**

日本私立学校振興・共済事業団の融資

幼稚園の経営者のみなさん、こんなお悩みはありませんか？



園舎が古くなったので、安全性を考えて建て替えたい

● 令和元年度 耐震化事業に関する利子助成制度です。
ぜひご活用ください！

対 象

○旧耐震基準の園舎の建て替え
耐震化促進のための補助金(私立学校施設整備費補助金等)の対象となる改築事業

○耐震補強工事・非構造部材の耐震対策事業
防災(耐震)機能強化のための補助金の対象となる改修事業

事業団の融資

この融資制度は
文部科学省から私立学校施設高度化
推進事業費補助(利子助成)を受ける
ことができますので

全借り入れ期間
実質0.5%の
固定金利です。

※融資金利が0.5%以下の場合は
利子助成は行われません



融資上限＝補助対象事業費－補助金

※ 補助金の対象となっている事業に
対してご利用いただけます。



給食室を増築したいけど資金が…



● 通常の融資もご相談ください。

低利・固定金利
20年間の
借り入れが可能！

返済方法は
利息負担の少ない
元金均等返済

主な事業と融資金利

平成31年4月1日現在

融 資 費 目	返 済 期 間		
	20年以内 (うち据置2年)	10年以内 (据置年数含む)	6年以内 (据置年数含む)
【一般施設費】 園舎・遊戯室等の建築事業等 並びに園地の買収事業等	年%	年%	年%
	0.50	0.303	0.402
【教育環境整備費】 校教具並びに通園バスの購入等	—	0.303	5年6か月以内 (うち据置6か月) 0.302

※融資金利は毎月の金利情勢により変更することがあります。

※上記費目以外にも災害復旧事業、公害対策事業等が対象となります。

日本私立学校振興・共済事業団
融資部 融資課

〒102-8145 千代田区富士見1-10-12

☎ 03 (3230) 7862～7868

✉ yushi@shigaku.go.jp

以下は、平成30年度全日本私立幼稚園連合会九州地区会第34回教師研修大会長崎大会でのポスター発表事例です。ECEQの理解向上にお役立てください。

ECEQ公開保育の流れと実際の様子

ECEQ公開保育を通して、自園の良さや課題を共通理解し、質の向上を行う

STEP1 ヒヤリング・打ち合わせ

今後の研修の進め方や公開保育当日の事をECEQコーディネーターと話し合い、計画をたてる。

STEP2 事前研修

自園の良さや課題を保育者間で話し合う。

STEP3 公開保育に向けての準備

公開保育当日に参加者に見て欲しいポイント等を整理し、「問い」をつくる。また資料の作成や会場の準備等、公開保育に向けての準備をする。

STEP4 公開保育当日

公開保育当日。ECEQコーディネーターのサポートを受けながら普段通りの実践を行う。



ヒヤリングの様子



自園の良さや課題を
発見するワークの様子



当日の公開資料の準備



公開保育の様子

STEP5 振り返り～課題に応じた園内研修～

公開保育を経て参加者から得た感想や意見をもとに、園全体の保育者で振り返りを行う。

先生たちの同僚性の
良さをほめられた。

自分たちの保育がこれ
でいいといわれ嬉し
かった。



各分科会で上がった
ことを教えて下さ
い。

環境構成の大切
さをあらためて教
えてもらった。

子ども達が遊び込ん
でいた。



やってよかった!!ECEQ

引用: 学校法人江楠学園にじのはねこども園ECEQコーディネーター報告書(作成: 主幹保育教諭 江口佳子)

幼児教育・保育の無償化と公開保育を活用した 幼児教育の質向上システム（ECEQ）のこれから

（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
研究研修委員長 加藤篤彦

2013年6月に第一回目のECEQ（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）と、ECEQコーディネーターの養成を同時にスタートしてから、本年度でいよいよ6年目を迎えました。この間、ECEQでの公開保育は全国に広がりました。ECEQ認定証は、約140園（2018年度末）に発行され、ECEQコーディネーター資格者は250人を超えています。

都道府県では幼児教育推進体制事業が進められています。ECEQコーディネーターが、行政から幼児教育アドバイザーの任命を受け兼任するケースが増えてきました。これはまさに私立幼稚園・こども園のプレゼンスが向上していることを示すものです。

10月からは、幼児教育・保育の無償化が実施されます。無償化によって幼児教育を取り巻く状況は大きく変化します。幼児教育・保育を無償化することは即ち、多額の公共投資対象になることであり、公的資金に見合った幼児教育の質を保障することや、説明責任を果たすことが求められます。説明を果たすべき対象は保護者のみならず、地域の方々、市区町村の議員や行政担当者と広がります。この中であって、ECEQは、自園の幼児教育実践の質の向上をはかる仕組みであり、「幼稚園における学校評価ガイドライン」（平成23年度改訂・文部科学省）の第三者評価にも位置付くものでもあります。ECEQは今日的な課題に対応した包括的なパッケージなのです。ですから、これに取り組むこと自体に、進んで幼児教育の質の向上をはかろうとする園の姿勢そのものが表れているのです。

2019年度の機構の事業では、文部科学省からの委託研究（予定）を受けて、東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）と共にECEQについての協同研究を実施します。ECEQ実施園での事後アンケートでは、自園の幼児教育の質が向上した（質を向上させるためのPDCAサイクルを自園で実感できた等）という結果が既に出ていて、文部科学省をはじめとした行政の方々、教員養成関係者等には、私立幼稚園・こども園がECEQ等を通して、幼児教育の質の向上に努めていることは一定の評価を得ているところです。一方で、このシステムの何がどのように園の質の向上に資しているのかは、まだ客観的に分析されている訳ではありません。そこで、ECEQシステムの効果についてCedepからの外部評価として、質の向上とは何であるのかについて分析をいただきます。定評のある外部機関から客観的に効果の証明が得られれば、ECEQはさらに普及していくでしょうし、私立幼稚園・こども園における幼児教育の重要性はさらに多くの方に認識いただけるものと思います。

本年度も全国でECEQでの公開保育が実施されます。どうぞ多くの皆様に参加いただき、幼児教育の質の向上をめざす思いと実践をさらに広く共有し、輪を広げていただければありがたいです。

私幼時報では、令和元年5月号から10月号の6回にわたり、平成30年10月20日に開催された東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター(Cedep)と、SGU戦略的パートナーシップ大学プロジェクトストックホルムチーム、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、東京大学教職支援ネットワークによる合同シンポジウム「市民としての子どもを考える教育の可能性～スウェーデンにおけるレッジョ・インスパイアの幼児教育に注目して～」の内容を報告します。先月号に引き続き、ストックホルム大学講師・研究員のBodil Halvars(ボーディル・ハルバース)氏と、Ingela Elfstrom(インゲラ・エルフトロム)氏の講演を報告いたします。なおこの報告は便宜上一人称で書きますが、全て引用という訳ではなく、一部岡本和貴先生(徳島・わかさ幼稚園)が加筆・修正をしておりますことをご了承ください。当日配付されたスライド資料は、発達保育実践政策学センターのシンポジウム報告ページ(http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/project_report/symposiumseminar/sympo_181020/)からダウンロードできますので、ご参照ください。

ストックホルム大学講師・研究員 Bodil Halvars(ボーディル・ハルバース)氏、Ingela Elfstrom(インゲラ・エルフトロム)氏／講演概要

学びが関係性のある場であるということ：スウェーデンにおけるレッジョ・インスパイアの幼児教育・保育の経験から②

Ingela Elfstrom 先生：お招きいただきまして、ありがとうございます。私たちは初めての来日となりますので、大変興奮していますし、出会うもの全て新しい中で過ごしています。

【レッジョ・エミリアの哲学との出会いについて】

スウェーデンとレッジョ・エミリアとの交流は1980年代に始まりました。きっかけはストックホルム近代美術館で1981年と1986年に行われたレッジョの大展覧会で、約9万人が観覧しました。その参加者の多くがプリスクール教師や園長先生で、展覧会の後にレッジョの視察に出かけました。その中にはストックホルム大学のグニラ・ダールベリ先生や、彼女の共同研究者や保育実践者の方もいました。

その中の数名がストックホルム・レッジョ・エミリア研究所を開き、レッジョのローリス・マラグッチ氏とも共同してプロジェクトを開催しました。研究所を運営されていた方々は、ストックホルムでもレッジョと同じようにできるだろうと考えていたの

ですが、マラグッチは、「私たちを模倣することはできないよ。あなたたちのやり方でしなければいけないでしょう」とおっしゃいました。1993年からは、ストックホルム・プロジェクトと呼ばれるものが政府からの出資を得て始まりました。それを推進したのが、ダールベリ教授の研究グループ、ストックホルム市の行政の関係者と、ストックホルム・レッジョ・エミリア研究所および全国・地方のネットワークの方々でした。

【子どもを市民として見る】

1980年代のスウェーデンとレッジョ・エミリア、およびレッジョ・エミリアが位置する北イタリアとの類似点についても触れます。レッジョと出会ったときに、私たちの文化や考え方と通底するものとして民主主義のエートス(ethos その地域固有の気風、精神、思想)や、子どもに対する敬意、子どもを市民として見るという概念が見出されました。第二次世界大戦後の1940～60年代にかけては、スウェーデンも北イタリアも社会的な発展という点が

共通しています。女性の社会進出が進むとともに保育所やチャイルドケアが必要になってくるという文脈や、テーマ／プロジェクト志向のアプローチを長年積み重ねてきていること、創造的で審美的な表現を子どもたちの重要な特徴として捉えている、という点でも共通していました。

【教育学的ドキュメンテーション】

レジジョと出会ったスウェーデンの教師にとって目新しいものの1つに教育学的ドキュメンテーションの使用があります。教育学的ドキュメンテーションは、子どもの思考や問い、仮説が可視化されることを保障すると共に、学びの変化をその保育の場にもたらしものとして利用されます。さらに教師たちに同僚間の高度な議論の機会を与えることが、私たちが見つけた新しい面でした。

【プロジェクト・アプローチの変化】

以前は、ドキュメンテーションを一人ひとりの子どもの発達を捉えるために使っていました。プロジェクト・アプローチに関しては、教師が計画をし、何をするかが決まった形で実践していました。そこに教育学的ドキュメンテーションを導入したことによって、子どもたちが今ここでしていることに基づいて2日目、3日目の活動の展開を考えていくというように、より臨機応変なプロジェクト・アプロ

チに変化していきました。絵を塗ったり描いたりということだけではなくて、子どもたちが自らの思考や問い、仮説、夢を伝え合ったり聞かための道具としての審美的な表現という使い方を新たにできるようになりました。

【ワークショップ】

そういったアプローチを取ることで、プリスクールの環境は、家庭的なものから、よりワークショップ的な作業場が変わっていきました。教師たちは、教育学的なドキュメンテーションを作る過程で子どもたちがしたことや言ったことをより注意深く応答的に捉え始めたときに、それまで記述していたものよりも、子どもたち自身の課題や問いがさらに複雑であることに気付きました。それに伴いプロジェクトも、より複雑なものになっていきました。

【自分自身に問う】

2～3歳児がベビーサンフラワーという小さいヒマワリを育てていました。子どもたちは、「足が見えるから、きっと公園の散歩に行けるんだよ」と話していました。彼らは、自分たちの体と自分たちが育てた小さいヒマワリとの間に、相互性を見つけて、自分たちの体に対応する部分が花にどうあって、それに伴って、「ヒマワリが夜にどんな夢を見るのかな」「黄色いアプリコットと黄色い太陽の夢を見



新しいものを見るたび、触れるたび、

目覚ましく成長する子どもたち。

子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。

育む環境で、子どもたちの明日は変わる。

だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。

好奇心や想像力、勇気や感動。

そして、子ども同士の関わり合い。

子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、

最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



シクエツ

て、ヒマワリは大きな地球のベッドに横たわって寝ている」というような話もしていました。

そういった話題から、子どもたちは生態系のことについて思いをはせるようになりました。これはとても大事なことです。なぜかと言うと、青少年の科学離れがスウェーデンでも懸念されており、小さいなりに科学への関心を育てていかなければと考えられているからです。また、持続可能性の教育という観点からも、こういったことに子どもたちが興味を向けたときに、きちんとそれを拾い上げるということが大事だと思います。子どもたちは自分たちの周りの自然に対していろいろなことを気付いているということを大切にする必要があります。それが、さまざまな問いの起点となります。

4～5歳児になると、子どもたちは、「木は根からどのように水を吸い上げているんだろうか」、「木は水を吸い上げるための心臓とか持っているのかな」というような問いを持ったりもします。私たち人間には心臓があって、心臓が鼓動することで血が循環しているということを子どもたちは知っているのですね。「木も同じように心臓があるのだろうか」と子どもたちは問い、自分たちのさまざまな考え、「木の心臓がどういふようになっていくか」「根から水をくみ上げるリフト」「水がどのようにして根っこから葉っぱのところに至るのか」ということについて、さまざまな絵を描きます。子どもたちは、高度な本を読んだりその写真を見たりして、木がどのように水を吸収しているかという内部のことや、根がどのような構造になっていて、どのように水を吸い上げるかといったことを学ぶこともありました。その問いは、子どもたちにとって大事なだけではなく、科学的にも重要な問いにつながります。例えば、温暖化で暑さが世界的に厳しくなっていますが、木が熱の中で生きていくために、どのように根が水を吸い取っているのかということが関連してきます。

別のグループでは、「見ているものが、どうやって目に入ってくるのか」という問いが立てられました。カメラや鏡といったものを使って、いろいろな実験をしていました。一人の女の子は「私は、光が

目から何かに向かって飛び跳ねていて、跳ね返って目の中に戻ってくるんだと思うの」と絵の中で矢印を使って、目から何かに向かって光がいて、光が目の中に戻っていくという様子を説明しています。これを通して、絵を描くということが、子どもたちが自分の考えたアイデアや問い、仮説を表現する上で重要であることがご理解いただけると思います。

【探求的方法】

教師は子どもたちが日常の現象や出来事をさまざまな方法で探究する様子も見てきました。子どもたちをそれまでとは違う見方で捉えるようになった結果、よりオープンかつ探究的な方法で教育を行うようになりました。

1990年代にスウェーデンの複数の地域に広がったストックホルム・プロジェクトは、当時編纂されていたスウェーデン初の就学前教育カリキュラムにも影響を与えました。教師が計画を立てる際に「さまざまな子どもたちのリソース（資源）を活用する。子どもたちの経験、関心、ニーズ、意見から始める。多様な学びを見出すために思考の流れを活用する。子どもたちがカリキュラムに記載されている領域のスキルや知識を育み、自分自身のことや彼らを取り巻く世界について理解を広げ、深められるようにする」ことを考慮しています。教育学的ドキュメンテーションには、メモを取る、写真を撮る、映像を撮る、音声を録音する、作品をドキュメンテーションに加えることが含まれます。それを教師が利用するだけでなく、子どもたちの手元に返すことが必要です。例えば、サークルタイムで子どもが自分の絵について話そうとしたけれどもうまく説明できなかった時に、教師がその絵の教育学的ドキュメンテーションや、その子の作品を持ってきて援助することで、話すことができました。

子どもたちの問いから始めるという例では、子どもたちがマフィンを焼くという活動で「どうしてオーブンはマフィンを膨らませるの、どうしてオーブンじゃないといけないの」「だって、暖かい空気がマフィンを膨らませるからだよ」「でも、暖かい空気は、どうやってオーブンの中に入ってくるの」

と子どもたちは問いを見出し、仮説を立てて話し合いました。マフィンが十分に膨らむまで何分かかるかオーブンに入れてから砂時計を使って数えているんですね。2分だったら十分だろう。2分待つと足りなかった。次に5分だったら…次は10分…。子どもたちはその時間を記録していつ、「何分だったらマフィンは焼けるのだろうか」と試していました。子どもの中に砂時計を見張る役、砂時計の時間を書きとめる役、何分だったらまだ焼けていないというのを書きとめる役の子どもがいました。

【ドキュメンテーションを使用する目的】

何のために教育的ドキュメンテーションを使うのかというと、教師がチーム内で共に話し合い、振り返り、分析するためであり、子どもと一緒に話し合い、振り返るためです。また、プロジェクトのその後の発展の道筋を見つけるためであり、子どもたちの学びに保護者が関わる機会を作るためです。

ドキュメンテーションを使うことは、子どもたちの意欲をかき立て、自らの気づきや言葉、考え（仮説と理論）を深め、広げる機会を与えることになります。新しいつながりを生み出し、子どもたちに共有された知識が目に残るようになります。マフィンのプロジェクトの中で、先生は「マフィンの中に熱がどのように入ってくるかを表現できますか」と問いかけます。この過程で子どもたちにマフィンの

中で何が起こっているかを探索するために顕微鏡が与えられ、オーブンで焼かれたマフィンと、チョコレートボールとを見て比較をしています。「マフィンの中に何かが見える。ごちゃごちゃしている。点があって、その周りに何か丸いものがある。たくさんの頭でちょっと黒い、白い目、ひび割れ、穴がある。」「チョコレートボールのほうには穴が1つもない。だから、オーブンの中で穴が開くような何か起きたのだろう」子どもたちは、新しく発見したことを子どもたち同士、それから、先生とともに話し合いました。

【学びが関係の場であるということ】

出来事が、その関係によって結びつく場の中では、子どもと教師、それから、取り組みの方法、コミュニケーション、表現方法、内容、時間、素材が相互に作用し、影響を与え変化することが見出されました。

教育的ドキュメンテーションを利用する際には、それは、この関係の場の一部として作用します。教育的ドキュメンテーションは、その関係の場の中にあることで、その場の中にあるもの、子どもも教師も含めて影響を与え変化していきます。

（徳島県・わかさ幼稚園／岡本和貴）

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

キャリアパスや免許更新のために
研修の記録を大切に残しておきましょう！

監修 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

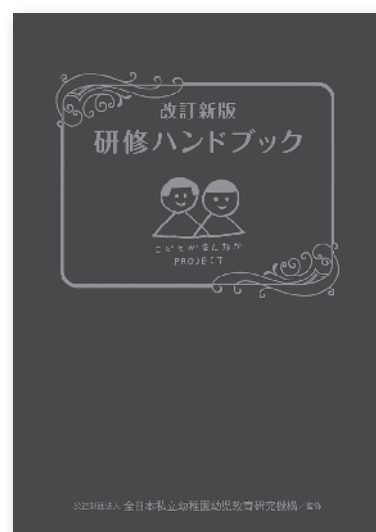
改訂新版 研修ハンドブック

4145301 **648円**（本体 600円）

●B6判
●112ページ

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー CS 事業本部
TEL03-3262-5128





第10回

●テーマ「子どもたちの今と未来の幸せをねがって」

～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～

幼児教育

●趣旨 すべての幼児教育の現場の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、平成22年度、幼児教育実践学会がスタートしました。

本学会では、3つの柱により学会運営を行います。

- ①発表者には、実践を踏まえた研究発表を行い、できるだけ映像等を使用する
- ②参加者は、生きた研修のメイキングの仕方を学び、地区・都道府県から各園に周知する
- ③保育実践者と研究者が共に育ちあう

実践学会

●期日 2019年8月19日(月)・20日(火)

●協力 全日本私立幼稚園連合会／静岡県私立幼稚園協会

●会場 1日目／静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号)

2日目／常葉大学静岡草薙キャンパス(静岡市駿河区弥生町6-1)

●参加資格 幼児教育関係者

●定員 500人

●参加費 4,000円

●問い合わせ先(参加の方法、研究発表の方法、学会内容など)

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階

大会の流れ(予定)/大会期日:2019 年8月 19 日(月)・20 日(火)

●第 1 日目 2019 年 8 月 19 日(月)

【会場】静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

12:30 — 開会式、表彰式

13:15 — 基調講演Ⅰ — **(仮題) がまんする力の発達**
講師:森口佑介(京都大学大学院教育学研究科准教授)

14:45 — 休憩

15:10 — 基調講演Ⅱ — **(仮題) 保育のちからー保育技術を科学するー**
講師:佐々木晃(鳴門教育大学大学院教育実践教授・
鳴門教育大学附属幼稚園園長)

17:10 — 第 1 日目 閉会

17:30～19:00 — 保育者と研究者の交流懇親会 ※参加希望者のみ

※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。

※「表彰式」では、本財団の平成 30 年度優秀教員表彰者を表彰します。

※進行の都合上、基調講演等の開始時刻が前後することがあります。あらかじめご了承ください。

●第 2 日目 2019 年 8 月 20 日(火)

【会場】常葉大学静岡草薙キャンパス

9:30 — 口頭発表【Ⅰ】(80 分)

11:00 — ポスター発表(120 分)

昼食休憩

13:10 — 口頭発表【Ⅱ】(80 分)

14:30 — 閉会



※昼食の予約を受け付けます。

※終了後は各口頭発表会場にて各自解散となります。

園・個人・研究者で研究発表を希望される方へ

○園・個人・研究者での研究発表は、ポスター発表に限らせて頂きます。

参加を希望される方へ

第 10 回学会への参加申し込み期間は 2019 年 5 月 22 日(水)までです

○参加を希望される方は、参加申込書の提出が必要です。当日参加は受け付けません。

2019 年 5 月 22 日(水)までに、所属の都道府県団体事務局の指示に基づいて、都道府県団体事務局へ「参加申込書」を送付してください。

○後日、各参加者へ直接「会場までの地図」「学会参加証」等を送付させていただきます。

- 参加費は4,000円です。「参加費」は返金いたしません（代理参加は可）。
- 口頭発表ならびにポスター発表へお申し込みの方につきましても参加費はお支払いいただきます。共同研究者の方もご参加の場合は同様に参加費をお支払いいただきます。
- 学会当日の受付は19日（月）午前11時30分から行います。19日（月）はご昼食の用意がございませんので、各自でお取りいただくことになります。
- 19日（月）は参加希望者による「保育者と研究者の交流懇親会」を開催します（交流懇親会費4,000円）。事前にお申込みされた方のみご参加いただけます。当日受付はいたしません。
- 20日（火）の昼食につきましては、参加申込時に予約をした方に限りご用意いたします。（昼食費1,000円）当日受付はいたしません。なお、近隣・大学内には飲食店等はございませんので、ご了承ください。
- 参加費等は「参加申込書」と同様に、都道府県団体事務局の指示に基づいて、所属の都道府県団体事務局へ送金してください。
- 普通会员または賛助会員以外の参加者については、参加費（4,000円）に参加申込書を添えて現金書留にて本財団までお送りください。参加申込締切（5月22日（水））までに送金がない場合には参加は受け付けません。（現金書留宛先〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構）
 - *普通会员は、都道府県私立幼稚園団体に加盟している私立幼稚園です。
 - *賛助会員は、本機構の目的に賛同し、その事業に協力する個人、団体又は企業です。
- 定員に達し次第、締め切らせて頂きますのでご了承ください。
- 宿泊施設・交通チケットにつきましては、参加者各自でご予約等のご対応をお願いします。
- できるだけ公共交通機関をご利用ください。

CHAPPY 園児管理シリーズ クラウド対応

園児管理システム

パソコンでも
タブレットでも
使えます！



PC



タブレット



園長



先生

**出席の管理
未就園児管理
パスコース管理
承認機能完備**

パソコン内ではなく
データセンターでの
管理になるので
セキュリティに
優れています。

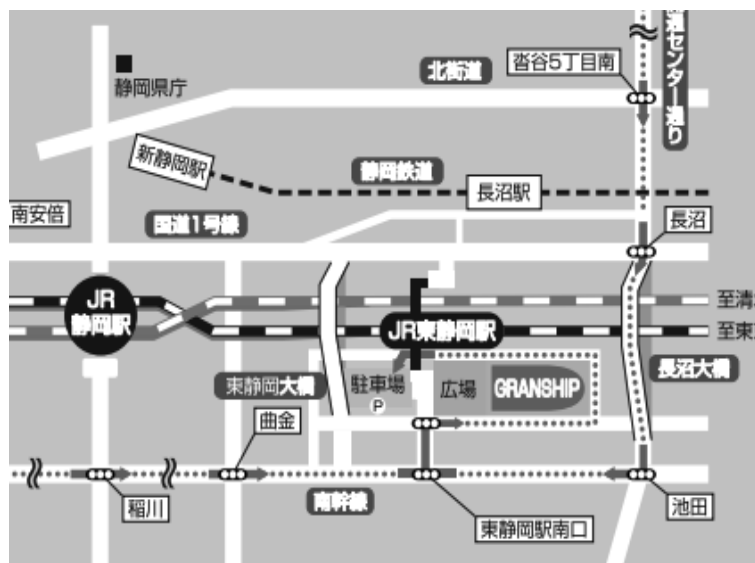
**個人カリキュラム
検査記録
課外活動一覧
指導計画**

園で役立つ機能が満載！ しかも簡単入力で時間削減。
チャイルド社の園児管理システムは、
忙しい先生を応援するためのシステムです。

開発・販売  **株式会社 チャイルド社** コンピュータ部

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11 TEL 03-3333-2345
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

会場までのアクセス



1日目：8月19日（月）

会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

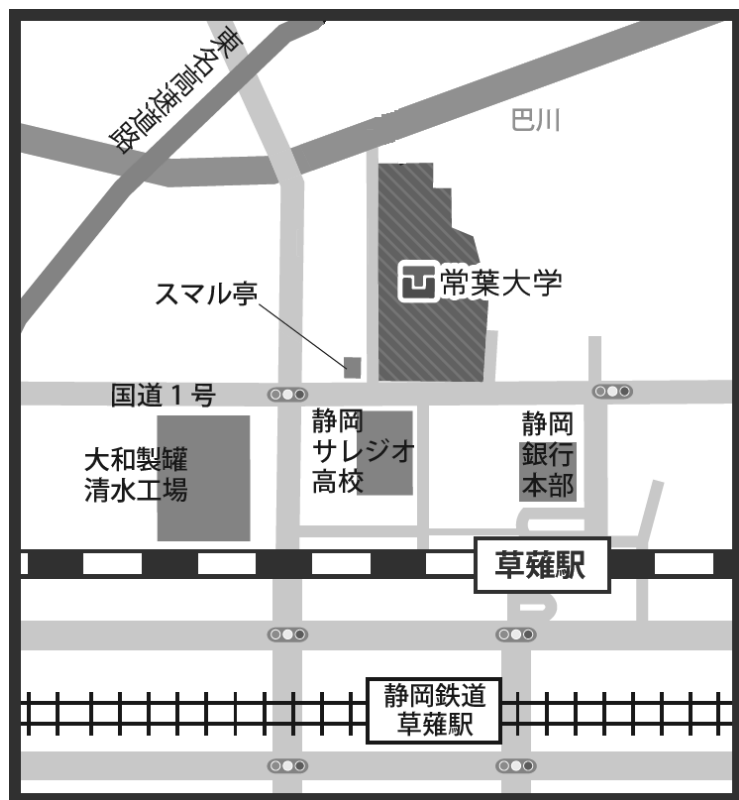
住所：静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

<交通アクセス>

●JR 東静岡駅南口隣接

※静岡駅の1駅隣になります。

●静岡鉄道 長沼駅徒歩8分



2日目：8月20日（火）

会場：常葉大学静岡草薙キャンパス

住所：静岡市駿河区弥生町6-1

<交通アクセス>

●JR 草薙駅北口から徒歩約4分

●静岡鉄道 草薙駅から徒歩約7分

遊び保育が育む幼稚園生活

～遊び保育への変更によって保育はどのように変容したか～

○上村毅（星の子幼稚園）・長山梨恵（星の子幼稚園）

酒井義信（札幌大谷大学 非常勤講師）

I. はじめに（上村毅）

星の子幼稚園では、2015年までは一斉指導中心の保育を行っていました。2013年から3年間は「学びの物語」による支援を要する子どもの記録について研究してきました。（第8回大会で報告）研究実践の結果、設定保育よりも一人ひとりの子どもの主体的な活動を重視した遊び保育の方が、支援を要する子どもたちも自分に合った活動を行えるのではないかと考えるようになりました。そこで、2016年から遊び保育に変更しました。遊び保育に移行するとともに子ども同士のやり取り・会話を保育者が詳しく読み取れるようになりました。さらに記録をクラウド化したので、より職員同士で情報の共有が図られ、子どもについて、保育について交流する姿が増えました。

遊び保育への移行の様子、そして、3年目を迎えて、子どもたちは、保育者はどのように変容したかを報告します。



（一斉保育当時の保育の様子）

II. 『遊び保育論』について（酒井義信）

2015年から遊び保育への変更を目指して共同研究がスタートし、『遊び保育論』（小川博久著 萌文書林）に基づいて研修を進めました。それは、遊び保育について方法論が詳しく述べられており、保育者の共通理解が図りやすいと考えたからです。

1. 遊び保育への取り組み

保育を変更する前に園内研修を通して主に、

①なぜ遊び保育が大切なのか ②遊び集団の

育成 ③身体的同調を育む活動 について共通理解を図りました。

①に関しては、学びには大きく二つの考え方がある。一つは学校教育で行われている「教授＝学習」（教え）による学び、もう一つは例えば遊びを通して行われる状況的学習論。これは、学びとは外から知識を取り込むことよりは、ある活動に参加し次第に参加の度合いを深めて、いろいろな知識や社会性などを獲得していくという学習論。幼稚園教育要領においても遊びを通した総合的な指導が取り上げられており、幼児期の子どもには言語による教えより、自らの興味・関心に基づく主体的な活動を通した学びが適しているということの理解を図りました。

②に関しては、遊びは教えることは望ましくなく、どのように遊びに取り組みせるかが重要になる。そこで、昔のガキ大将を中心とした地域の遊び集団による遊びの伝承をモデルにして、遊び集団づくりを行う。クラスに3つ程度の遊びコーナー（制作、ごっこ、積み木など）を設けて、お互いのコーナーが「見る＝見られる」関係になるように配置。見られることにより、お互いの遊びがモデルになると同時に、それぞれのコーナーの遊びが賑わう。例えば35人の子どもそれぞれが遊びをしている場合、保育者はその遊びすべてを把握することは難しい。しかし、いくつかの群れで遊んでいるときはより可能となります。

③に関しては、子ども集団の人間関係づくりが遊びには大切です。保育者と幼児集団との同型的同調や同型的応答が成立するのは、「ノリ」という身体機制によって保育者と幼児集団との連帯性がつくれるからです。手遊びをしたり、「大きなかぶ」の絵本を読んでいる「うんとしょ、どっこいしょ」とみんなで唱和することなどで一体感が生まれたりします。これらを繰り返すことにより「内的秩序感覚」が成立して、クラス集団の中に共同体的絆がつくれることも遊びにはとても重要です。



(コーナー遊びの様子)

2. 保育を移行してからの様子

設定保育から遊び保育に移行すると、子どもたちが自ら遊ぶようになり、保育者も設定保育を進めるといった役割から、子どもの遊びを観察し子どもを理解し遊びを援助するという役割に変わりました。すると、子どもが本来持っている能力をより詳しく観察できるようになり、それがまた子どもを伸ばすことにつながったと考えます。今後の課題としては、子どもの遊びによる体験と、保育者の計画性を、どう調整をとるかが挙げられます。

Ⅲ. 保育者、子どもの変容について(長山梨恵)

1. 保育者の変容(保育者へのアンケートより)

- ・心の動きを感じるように、より子どもたちをみて、必要に応じて共感したり、話をしたりするようになった。
 - ・子どもたちの行動の背景を理解しようとするようになり、肯定的に受け止められることが増えてきた。
 - ・出来る、出来ないで子どもの成長を見取るのではなく、取り組んでいる過程や、どんな事に興味を持ち過ごしているのか等に視点が変わった。
 - ・「○○をやってね」などの指示が「○○ならどうしたらいい？」など子どもたちが自分で考えて動くよう声掛けの意識が変化した。
 - ・どう思うか、どう感じたか等、子どもの声を待つような声掛けを心掛けるようになった。
 - ・学年での話し合いが多くなった。疑問や困ったことはすぐに話し合って相談しあう。
 - ・遊び保育になったからこそ、危険な場所や危険な遊びがないか、気をつけている。
- ### 2. 子どもの変容について(保育者へのアンケートより)
- ・遊びの中で友達との関わりや体験を通して自

分だけでなく相手を思いやる気持ちが育っている。

- ・子どもたち同士で話し合う姿があちらこちらで見られる。

- ・やりたいと思った遊びを自分たちから挑戦しようとし、粘り強く試行錯誤したりし、遊びを作りあげるようになった。

- ・その時期になると行事に関わる活動が急に始まるといった印象だったが、遊び保育になり行事が子どもの生活の延長上にあるということ。年長児が年中・少を「運動会参加しませんか？」と誘いに行き、司会進行や競技準備など役割分担しながら行事を創り上げ、幼稚園のリーダーという自覚を持てるようになった。年中・少児はそのような年長児の姿を見て憧れを抱いている。



(園庭での流しそうめん遊び)

Ⅳ. 今後の課題(長山梨恵)

自由遊びとクラス集団での活動のバランスをどのようにするか、自由遊びが多すぎると、一人ひとりの遊びが把握できないこともある。遊びが中心になったことで、職員が同じイメージを持って保育をすることや遊び保育の文化を築くところが難しい。

また、保護者に遊び保育を理解してもらうことの難しさがあり、どのように伝えていくのかがいいか模索している。

V. まとめ(上村毅)

乳幼児の教育は、常に大人になった時、どのような力が大切なのか、何を大事にしていくのか考えながら生活・遊びを、組み立てていかなければなりません。

そして、常に自分の保育に満足せず、より良い保育を追求することが、子どもたちが主体的で、楽しく、健康的に園生活を過ごすことに繋がります。



『子ども主体の園外保育を目指して』 ～自然とのかかわりを通して育む10の姿～



学校法人 玄海学園 貝塚幼稚園

【園長】庄司 誠

【教諭】森田 優美香・門口 礼佳

園外保育を行うにあたっての背景

- 社会と上手に関わることが難しい人たちがたくさんいる
- 近年増加する「命」を軽んじる悲しい事件
- 平成20年度幼稚園教育要領改訂
- 平成30年度幼稚園教育要領改訂



こうした背景のもと…

「命」や「心」、「生きる」といったことに重きを置いた保育にさらに力を入れるようになり、大きな保育の柱として、「自然環境に触れさせることを目的とした園外保育」や子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていく「食育」に力を入れている。

自然環境に触れさせた園外保育の意義

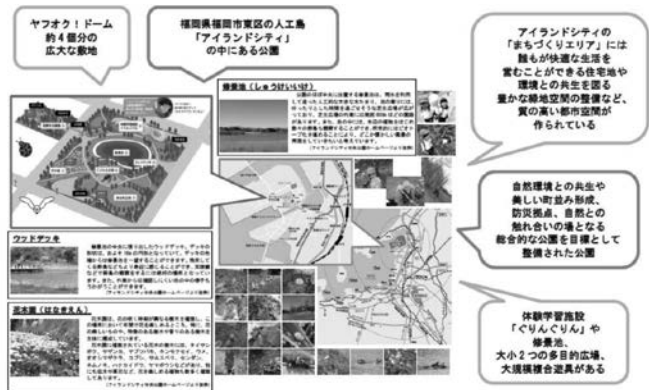
近く公園や広場に出掛ける園外保育とは別に、毎月1回以上、自然な環境が整えられたアイランドシティ中央公園へ出掛ける日を設けている。

- ★雨天の場合もできる限り♪
- ★友だちや先生と一緒に自然溢れる環境の中で体を思い切り動かす
- ★目の前の自然に対して主体的に関わる
- ★四季を通じた様々な変化を体感したり、実際に生き物や植物の“命”に触れたりする
- ★自然の美しさや不思議さなどに興味や関心を持つ

命との出会いは…

- 普段の生活では味わえないような感動や驚き、悲しみといった心の動きと共に様々な活きた経験を積むことに繋がる！
- 「何を発見するかわからない」という多様性を含んだ自然は、子どもたちにとって最も優れた教材であるのではないかな？

アイランドシティ中央公園について



「第6回幼児教育実践学会」のまとめと課題

- ・園外保育において、子どもたちが感じていることや体験していることはそれぞれの学年によって異なっており、生き物の命に対する姿勢も変化している。

- ・気持ちの良い体験・経験だけではなく、気持ち悪い・臭い・生き物の死などといった悲しい経験も、子どもたちが命と向き合い、豊かな心や感情を育む上では大切なことである。
- ・園外保育では、自分以外の小さな“命”を通して、人間として生きるために大切な“心”をたくさん学ばせてもらっている。“命”や“心”といったものを育むためには、幼児期に命に直接触れる環境をもっともつと整えていく必要がある。



園外保育をより有意義なものにするために・・・

- ・教師自身が子どもたちの好奇心にこたえられるような、知識や引き出しをもてるようにすることが課題。
- ・興味が深められるような声掛けや環境整備に気を付けることが、子どもや教師一人一人の成長に繋がっていくのではないかな。
- ・年少組では、教師が生き物に興味を持つきっかけ作りをしたり、生き物に対する知識がない子どもと一緒に、一瞬一瞬の場面を大切に関わったりすることが望まれる。
- ・年中・年長組では、好奇心から様々な経験へと繋いでいけるように、図鑑を用意したり一緒に調べてみたり、時には見守ったりすることが必要になるのではないかな。

↓しかし！

目の前の自然に対して主体的に関わり様々な体験をすることで、「命」と向き合い、豊かな心や感性を育てているが、学年によっては教師主導になることも多い。

↓そこで！！

《企画趣旨概要》

「子ども主体」の保育実践をもとに園内研修を行い、『自然との関わりを通して育む10の姿』という視点で考察したことを研究発表する。

園内研修をしよう！

1、「園外保育での子どもたちの姿を思い出し、 そこで何が育っているのかを考えよう！」

- タックメモを持ち寄り、その姿から共通していることを見つけていこう！
- ・5領域から見ると？
- ・学年で見ると？
- ・足りないものはどこ？

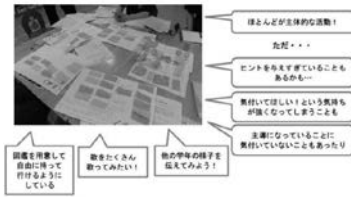


2、「子どもたちの主体性が育っている瞬間を

考えよう！」

○主体性に注目しよう！

- ・子どもたちが主体的に行っていることは？
- ・教師の援助は？



○まとめ○

- ・5領域の内容を見ながら分けていったが、複数当てはまるものも多く、「絶対これ！」というものは少ない。

→相互に関連をもちながら育っていることがよくわかる。

- ・環境の領域が特に多い。年少組で興味や関心をもつと、その後も自ら環境に関わろうとするようになったり、疑問に思ったことを進んで調べたりしている。

→子どもたちの疑問を教師の疑問に！年長組では図鑑を用意するなどして、自分たちで調べられるようにしているし、園外保育にも自由に持って行くことができる。

→やってみたくと思った時に、それを実現できるように環境を整えていたり、あるもののなかから、考えたり工夫したりしながら取り組めるように教師も柔軟な発想ができるといい！

- ・表現の領域は少ないが、知っている歌と見たり聞いたりしたことを結び付けて歌ったりしている。

→季節の歌をたくさん歌うことで、イメージも豊かになり、より楽しめるのでは？また、自然の中にある音にも気付くきっかけになったり、季節の変化を感じる一つの方法にもなるのではないかな？

- ・「幼児の主体性」と「教師の意図」とを、バランスよく絡ませていくことが難しい...

→活動の主体は子どもたち！教師は活動が生まれやすく、展開しやすいように、意図をもって環境を構成することで 発達に必要な体験ができる。

3、「10の姿について考えていこう！

年長組での活動から、どんな「10の姿」が育っているのか考えていきました。また、その姿をヒントに、他の学年でできることはないか考えたり、他にできることはないか話し合ったりしました。



8、まとめと今後の課題

今回の園内研修を行うことで、それぞれの学年がどのように園外保育に臨んでいるのかを知ることができました。また、園外保育での子どもたちの姿や年長組のマップ作りの活動を基に、教師同士で様々な視点をもち考えていく中で、様々な考え方があることに気付きました。幼稚園教育要領の10の姿にあてはめながらフォトラーニングをすると、1つの活動で10の姿1つが育っていくのではなく、それぞれが相互に絡み合いながら育っているということや、着目する場所や視点を変えたり、経験年数が違ったりすると、見えてくる育ちが異なることに気付きました。学年で行く園外保育だからこそ、他の学年がどんなことをしているのか知ろうとすることで、生かせることがたくさんあると思います。園内研修をするだけではなく、教師同士で日頃から子どもたちの姿や日々の出来事などたくさん話ができるような環境を整えていくことが課題の1つに挙げられます。

また、5領域・10の姿という視点で保育を振り返ることで、どの部分が園外保育の強みで、どの部分を充実させるとより良い保育が行えるのかということを考えることにも繋がりました。これは学年によって当てはまる部分が異なってくるので、より楽しく園外保育に出掛けられるように、また、子どもたちがワクワクするような活動を展開できるように5領域の視点や10の姿の視点を常に意識し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をイメージしながら保育を行うことや、教師一人ひとりが考えながら保育に臨むことが重要であると実感しました。

さらに、環境を通して行う保育であるからこそ、子どもたちが主体的に活動できるように教師が意図をもって環境を構成することが大切ですが、「幼児の主体性」と「教師の意図」とをバランスよく絡ませていくことが難しいという意見も沢山あったので、それは教師自身の今後の課題であると思います。日頃から子どもたちが主体的に活動に取り組めるように、教師はなるべく手を出さずに見守り、問いかけながら保育を進めることを心掛けることで、発達に必要な自然との関わりを通して園外保育がより充実したものになるのではないのでしょうか。

栃木県の幼児教育を担う 自負と責任を感じて

加盟園の約6割が新制度に移行した現在、連合会の役割も変わりつつあります。しかしながら変わらず重要なものは幼児教育の質を担保する研修体制の充実です。幼児教育を主軸とした研修に加え、0～2歳の養護を加えた幅広い研修と経営に関する研修会を年30回以上実施しております。研修は栃木県、栃木県幼児教育センター、栃木県教育委員会と連携し、特に新規採用教員研修は当連合会の青年部委員が中心となって実施しております。これは研修内容の充実とともに青年部委員会の意識向上にも寄与していると言えます。更にこれらの事業を通じて栃木県担当課との関係性も深まっております。

振興活動の中心は栃木県私立幼稚園振興連盟と連合会の振興委員会が課題を共有し、栃木県知事、県議会議長、担当部課に要望書を提出するとともに政調会との意見交換を重ねました。今回は私学助成園への県単補助の増額及び国の定める特別支援補助の、一人と二人以上の不平等さの是正を県単により同額とすること、および研修費補助を維持し効果的かつ柔軟な活用ができるようにするなど要望の満額回答をいただきました。昨年度は退職金に関する補助率アップを求め、幼稚園連合会が仲立ちとなり中学・高校の私学団体に呼びかけ、オール私学の強力な活動を展開し27/1000から29/1000への増額を実現いたしました。今後も新制度における市町格差の是正や、栃木県の未来ビジョンの実現に不可欠な団体としての威厳を維持できるよう、県内の幼稚園、幼稚園由来の認定こども園、学校法人立の保育園の結束を強化し、保育教諭・幼稚園教諭等が生き生きと働くことができる為の振興活動に努めてまいります。

((一社) 栃木県幼稚園連合会副理事長、栃木市・認定こども園おおみや幼児教育センター／船田弘和)

香川県の人材確保の取り組み

本年10月から、いよいよ私たち幼児教育関係者の念願であった「幼児教育・保育無償化」が始まります。

香川県は、昨年の学校基本調査によると、国公立の幼稚園が110園、私立幼稚園が33園で、国公立の幼稚園が全幼稚園数の76.9%を占めています。そのこともあり、香川県の私立幼稚園は、今まで適切な保育料を徴収することが困難であった園が多かったのですが、「幼児教育・保育無償化」により、保育料については、やっと国公立の幼稚園と同じ土俵に上がることができました。

昨今、待機児童の解消に自治体の力が注がれ、養成校の出身者の争奪戦ともなっています。幼稚園では一旦退職した教諭を再雇用しようとしても、10年ごとの免許更新が義務づけられ、潜在幼稚園教諭は激減しつつあります。

そのような状況の中、香川県私立幼稚園連盟では、昨年度、人材確保のための研修会を2回開催しました。1回目は各園の人材確保への取り組みと悩み等についてのグループ討議を中心とした研修会、2回目は、養成校の先生をお招きして、今時の学生気質について、また、学生の抱えている私立幼稚園のイメージなどをお話しいただきました。

研修会終了後、講師の先生方を囲んでの懇談会を開催し、講師の先生から生のお話を伺えたことも意義のあることでしたが、数字には現れにくい私立幼稚園の良さを養成校の先生方にお伝えすることによって、学生さんの就職先の候補に私立幼稚園を加えてもらえることに繋がるのではと思っています。

(香川県私立幼稚園連盟副理事長、高松市・のぞみ幼稚園／樫村文夫)

編集後記

今年のゴールデンウィークは10連休で、長期のお休み明けの保育室では、口々に家族でどこへ行ったとか誰々ちゃんと遊んだとか等、このような声が聞こえてきました。

本園では、自園でコメ作りをしています。今年は10連休のため籾まきを前倒しして行いました。籾を撒いて、ほぼ1カ月が過ぎると、撒いた籾から苗が大きくなり10数センチほどに生長しています。先日、年長クラスの園児を田んぼへ連れて行き籾の生長を見に行ってきました。自分の撒いた籾が苗に生長しているのを見

て、子ども達は、「大きくなった！」とか「僕の撒いた籾のトレーはこれや！」等の声が聞こえると同時に生長した苗を見ることもなく、田んぼの畔にいる虫や水を張った田んぼの中にいるオタマジャクシやカエルを苗の生長はそっちのけで興味深そうに見て触ろうとしている子どももいます。

自然の中には、子どもたちの興味を示す様々な機会があります。この機会を大切に育てていければと思います。

(調査広報委員・宮本忠史)

平成31年度(第4回) 免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
東京都 千代田区	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月22日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	黒田 秀樹(九州女子短期大学 非常勤講師) 宮下 友美恵(静岡県立大学 短期大学 部非常勤講師)	6時間	平成31年7月21日	150人	平31-80011-101007号
長野県 松本市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月6日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	西山 薫(清泉女学院短期大学 教授)	6時間	平成31年7月13日	150人	平31-80011-101008号
長野県 松本市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は10月5日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	西山 薫(清泉女学院短期大学 教授)	6時間	平成31年10月19日	150人	平31-80011-101009号
埼玉県 さいたま市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月6日開催の選択必修講習と連続して行うものとする。	福山 多江子(東京成徳短期大学 教授) 宮崎 豊(玉川大学 教授)	6時間	平成31年7月20日	110人	平31-80011-101010号
埼玉県 さいたま市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月20日開催の選択必修講習と連続して行うものとする。	安見 克夫(東京成徳短期大学 教授) 神長 美津子(國學院大学 教授)	6時間	平成31年7月6日	140人	平31-80011-101011号
山口県 山口市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月29日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	黒田 秀樹(九州女子短期大学 非常勤講師) 中邑 隆哉(岩国短期大学 非常勤講師)	6時間	平成31年7月30日	150人	平31-80011-101012号
宮城県 仙台市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月28日(日)開催の選択必修講習と連続して行うものです。	和田 明人(東北福祉大学 教授) 磯部 裕子(宮城学院女子大学 教授)	6時間	平成31年7月27日	200人	平31-80011-101013号
大阪府 大阪市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月31日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	中橋 美(大阪教育大学 准教授)	6時間	平成31年7月30日	200人	平31-80011-101014号

愛知県 名古屋市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は12月14日の選択必修講習と連続して行うものです。	上田 敏文（名古屋市立大学大学院 人間文化研究科准教授）	6 時間	平成 31 年 12 月 21 日	100 人	平 31-80011-101015 号
北海道 旭川市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	井上 薫（釧路短期大学 幼児教育学科教授） 深浦 尚子（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 1 日	120 人	平 31-80011-101016 号
北海道 札幌市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	井上 薫（釧路短期大学 幼児教育学科教授） 深浦 尚子（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 1 日	250 人	平 31-80011-101017 号
北海道 函館市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	井上 薫（釧路短期大学 幼児教育学科教授） 深浦 尚子（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 1 日	100 人	平 31-80011-101018 号
北海道 伊達市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	井上 薫（釧路短期大学 幼児教育学科教授） 深浦 尚子（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 1 日	50 人	平 31-80011-101019 号
北海道 岩見沢市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	井上 薫（釧路短期大学 幼児教育学科教授） 深浦 尚子（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 1 日	50 人	平 31-80011-101020 号
北海道 稚内市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	井上 薫（釧路短期大学 幼児教育学科教授） 深浦 尚子（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 1 日	50 人	平 31-80011-101021 号
北海道 北見市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月2日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	井上 薫（釧路短期大学 幼児教育学科教授） 深浦 尚子（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 1 日	50 人	平 31-80011-101022 号

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
東京都 千代田区	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月21日開催の必修講習と連続して行うものです。	加藤 篤彦（武蔵野東第1幼稚園 園長） 東 重満（札幌国際大学 人文学部心理学科特任教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 22 日	150 人	平 31-80011-302153 号
長野県 松本市	本講習では、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となる幼児理解にまず焦点をあてる。その上で集団の中で適応的に生きる力を育み、子としての成長を支援する教育相談について理解を深め、つまづきに対応する力やカウンセリング技法の向上を目指す。なお、本講習は7月13日開催の必修講習と連続して行うものです。	内藤 美智子（松本短期大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 6 日	150 人	平 31-80011-302154 号
長野県 松本市	本講習では、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となる幼児理解にまず焦点をあてる。その上で集団の中で適応的に生きる力を育み、子としての成長を支援する教育相談について理解を深め、つまづきに対応する力やカウンセリング技法の向上を目指す。なお、本講習は10月19日開催の必修講習と連続して行うものです。	内藤 美智子（松本短期大学 教授）	6 時間	平成 31 年 10 月 5 日	150 人	平 31-80011-302155 号
埼玉県 さいたま市	【環境とのかかわり】本講座では、近年の日本における子どもたちを取り巻く環境<自然環境と社会環境>の状況に着目し、その現状や課題、本質や乗り越えるための方策などを共に語り合いつつ探してみたい。【一人一人を活かす学級集団の創り方】家庭環境や保護者の価値観の多様化に伴い、子どもも多様化している。生活習慣が身に付いていない、直接体験が少ない子どもも見られる。こうした状況を受け止めつつ、一人一人を活かした学級創りをしていくための方法ならびに学校、家庭並びに地域の連携及び協働を考える。本講習は7月20日開催の必修講習と連続して行うものとする。	大澤 力（東京家政大学 教授） 松本 純子（東京成徳短期大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 6 日	110 人	平 31-80011-302156 号
埼玉県 さいたま市	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月6日開催の必修講習と連続して行うものとする。	大澤 洋美（東京成徳短期大学 教授） 平田 智久（十文字女子大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 20 日	140 人	平 31-80011-302157 号

山口県 山口市	本講習は、「学校内外における連携協力について」、「教育政策の動向について」の内容で行われ、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月30日の必修講習と連続して行うものです。	淵 和子（西南女学院大学短期大学部 非常勤講師） 田中 雅道（光明幼稚園 園長）	6 時間	平成 31 年 7 月 29 日	150 人	平 31- 80011- 302158 号
宮城県 仙台市	5領域等の内容を踏まえて、年長児修了までに育ってほしい具体的な姿を小学校以降の教育との繋がりを意識し、資質・能力の三つの柱を踏まえ明らかにした「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」について理解を深める。また、全国の幼稚園・認定こども園で収録した保育環境（屋内環境、園庭環境、自然環境等）を解説しながら、保育環境を構成・再構成する原理について学び、人的環境としての教師の影響や援助についても考察する。なお、本講習は7月27日（土）開催の必修講習と連続して行うものです。	上村 裕樹（聖和学園短期大学 准教授） 佐藤 哲也（宮城教育大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 28 日	200 人	平 31- 80011- 302159 号
大阪府 大阪市	このたび改訂された幼稚園教育要領では、3つの資質・能力を育てることが目指されており、新しい時代に即した子どもの学びや育ちをどのように保障するかが求められている。ここでは、幼児教育・保育に関する国際的な研究動向を踏まえ、幼児にふさわしい生活や活動を通して、幼稚園としていかに学びや育ちを支えていくか、実践を例に挙げながら検討していく。なお、本講習は7月30日開催の必修講習と連続して行うものです。	鈴木 正敏（兵庫教育大学 学校教育研究科准教授） 小田 豊（聖徳大学 児童学科教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 31 日	200 人	平 31- 80011- 302160 号
愛知県 名古屋市	幼児教育を進める上で家庭との連携は欠かすことができない。育児に関する多様な情報が氾濫する近年、幼児教育への重要な指針の一つとして家庭教育の根本である親子関係について愛着の視点で見直してみたい。なお、本講習は12月21日開催の必修講習と連続して行うものです。	山口 雅史（福山女学園大学人間関係学部 教授）	6 時間	平成 31 年 12 月 14 日	100 人	平 31- 80011- 302161 号
北海道 旭川市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は8月1日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授） 工藤 ゆかり（北翔大学 教育文化学部 教育学科講師）	6 時間	平成 31 年 8 月 2 日	120 人	平 31- 80011- 302162 号
北海道 札幌市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は8月1日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授） 工藤 ゆかり（北翔大学 教育文化学部 教育学科講師）	6 時間	平成 31 年 8 月 2 日	250 人	平 31- 80011- 302163 号
北海道 函館市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は8月1日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授） 工藤 ゆかり（北翔大学 教育文化学部 教育学科講師）	6 時間	平成 31 年 8 月 2 日	100 人	平 31- 80011- 302164 号
北海道 伊達市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は8月1日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授） 工藤 ゆかり（北翔大学 教育文化学部 教育学科講師）	6 時間	平成 31 年 8 月 2 日	50 人	平 31- 80011- 302165 号
北海道 岩見沢市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は8月1日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授） 工藤 ゆかり（北翔大学 教育文化学部 教育学科講師）	6 時間	平成 31 年 8 月 2 日	50 人	平 31- 80011- 302166 号



チャイルドブックの月刊保育雑誌

Pot

ポット

2019
大きくなって
読みやすく!

リニューアル!

ワンテーマ 20 ページの
巻頭大特集を毎号掲載!

定価 本体 1,000 円 + 税

<http://www.childbook.co.jp/pot/>

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21

TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392

<http://www.childbook.co.jp/pot/>

チャイルド本社

ご注文は、貴園担当のチャイルドブック販売店
または書店まで。

北海道 稚内市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は8月1日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授） 工藤 ゆかり（北翔大学 教育文化学部 教育学科講師）	6時間	平成31年8月2日	50人	平31- 80011- 302167号
北海道 北見市	「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は8月1日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学短期大学部 幼児教育保育学科教授） 工藤 ゆかり（北翔大学 教育文化学部 教育学科講師）	6時間	平成31年8月2日	50人	平31- 80011- 302168号

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
長崎県 雲仙市	本講習は『保育現場での質を高める』を主題とし、講習Ⅰでは、前半は離職率が増す中、新任保育者が何を考えているのか面接調査をもとに支援を考える。後半は問題を抱えた親子への見方、関わり方に影響を与えるものを心理学の視点から考える。講習Ⅱでは、園に在籍する気になる子の特徴など基礎的な知識に関する講義を行う。また、園での特別支援と相談機関での療育活動、小学校での特別支援を概観し、園と他機関、保護者との連携を考える。	吉武 久美子（長崎純心大学 人間心理 学科教授） 細野 康文（長崎純心大学 人文学部地 域包括支援学科講師）	6時間	平成31年7月26日	50人	平31- 80011- 508070号
長野県 上田市	今、保育者として子どもにとって必要な関わりとは何か。子どもに対する関わりや子どもの見方などを学びます。ややもすると大人主導になってしまうがちな保育という営みの中で、保育のねらいや願いを大切にしながら、教材が持つ面白さや教材を子どもの文化として根付かせるために必要なものは何かを考えます。	千葉 直紀（上田女子短期大学 専任講 師）	6時間	平成31年7月13日	150人	平31- 80011- 508071号
長野県 諏訪市	生活環境やライフスタイルの変化により、子ども達の自然体験の機会が減少している中、幼稚園などでの体験活動への取り組みへの期待が高まってきています。幼少期の豊かな体験は、「生きる力」の基礎となります。今回の講習では、「見る」、「聞く」、「触る」といった様々な感覚を使って、自然を直接体験するネイチャーゲームの体験し、幼稚園への導入事例を紹介します。	田中 住幸（飯田女子短期大学 准教授）	6時間	平成31年7月13日	100人	平31- 80011- 508072号
長野県 長野市	本講習では、幼児の自発的な活動としての遊びを保障するための課題と可能性について、受講者同士の討議も踏まえつつ検討を行う。まず幼児教育において遊びが重要だといわれる社会的背景について概観する。また、そもそも「自発的な活動としての遊び」とは何かという問いを出発点とし、絵本や映像などの遊ぶ子どもの姿から、遊びの意義や保育者の援助のあり方について考察を深める。	酒井 真由子（上田女子短期大学 准教 授）	6時間	平成31年7月20日	100人	平31- 80011- 508073号
長野県 松本市	本講習は、幼稚園教育要領・指針の学びを基に、「子どもの発達のとらえ方に関する最新の知見」「子どもを取り巻く社会と、幼児教育の近代的課題」などを、講義のほか、事例や映像を通したグループワークを通して「主体的・対話的で深い学び」を目指す。また、「幼児期のおわりまでに育ってほしい姿」から、今日の子どもの諸課題について特に体の問題を取り上げ、幼児期における身体活動（運動遊び）の重要性について解説し、小学校教育への接続を考える。	生田 恵津子（松本短期大学 幼児保育 学科教授） 白金 俊二（松本短期大学 幼児保育学 科准教授）	6時間	平成31年7月20日	150人	平31- 80011- 508074号
長野県 長野市	本講習では、日常の保育で見られる発達が気になる子どもについて、その身体や感情の自己コントロールの不器用さを理解した上で、保育的援助の方法を身体感覚の育成と動きづくりの視点から考える。具体的内容として以下の4点を中心に解説する。①子どもの発達とその評価の視点、②いわゆる「気になる行動」の理解、③自己コントロールと身体感覚、④身体感覚を高める保育と動きづくり。	前田 泰弘（長野県立大学 健康発達学 部こども学科教授）	6時間	平成31年7月27日	150人	平31- 80011- 508075号

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス



サーバー二重化!

らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホで

らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。



**ぜ～んぶ学研に
おまかせ!!**

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
**キャラクター
ロゴ**

Flashで
動画!

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。

長野県 松本市	子どもの想像力や感性を育む表現活動の展開をテーマに、体験的な学びの機会を提供します。第1部では、劇表現・コミュニケーションをテーマとした参加者自身が声や身体を使う準備活動（ウォームアップ）を体験します。第2部では、劇遊びの指導に焦点を当てて、実践映像の視聴や体験も交えた上でグループ討論を行い、理解を深めます。	山本 直樹（有明教育芸術短期大学 准教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 27 日	150 人	平 31-80011-508076 号
栃木県 宇都宮市	10 年ぶりの幼稚園教育要領の改訂がなされ、実施一年間が過ぎました。その中で、その幼稚園教育要領の変わらなところ、また変わったところの認識は免許を長く持っている人には特に重要です。他に非認知能力について、卒園までに見たい 10 の姿の見かた、使い方。これから特に重要な小学校との関係など講話していきます。	小林 研介（佐野短期大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 31 日	50 人	平 31-80011-508077 号
埼玉県 さいたま市	【インクルーシブ保育の実践】発達障害児を含む気になる子がいるクラスにおける集団作りやクラス運営を実践に照らし合わせて学ぶ。多様性を前提にした保育の在り方や気になる子の特性をつかんだうえで関係作りを中心に講義する。（守先生）【保育のスキルアップ（音楽表現）】幼児期の発達をおさえつつ、保育における表現活動の意義を確認する。その上で音楽表現の分野から幼児の豊かな感性や創造性、表現する力の育ちを援助するための教師の役割を整理し、実践例を交えながら理解を深める。（細田先生）	守 巧（こども教育宝仙大学 准教授） 細田 淳子（東京家政大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 6 日	100 人	平 31-80011-508078 号
埼玉県 さいたま市	【幼児教育と改訂幼稚園教育要領】法的根拠をもとに改めて幼児教育について考えるとともに新幼稚園教育要領において明確化された幼稚園教育において育みたい 3 つの資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿を中心に解説を行う。（伊澤先生）【遊びの中の学び・保護者支援】遊びの中にある多様な学びについて、事例や実践の振り返りの中から理解を深める。また、遊びは園だけでなく保護者との連携や地域資源の活用なども重要な視点であり、その一つである保護者理解、連携について検討する。（田澤先生）	伊澤 永修（秋草学園短期大学 准教授） 田澤 里喜（玉川大学 准教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 13 日	80 人	平 31-80011-508079 号
埼玉県 さいたま市	【子ども理解と保護者相談】保護者から子どものことを相談された時、子どもの言動の捉え方を専門性から考え、子どもへの対応について専門家としての助言が必要となる。様々な保護者に対応できるよう、一緒に学んでいきたい。（高橋先生）【保育者の「言葉」と「語り」について】「非認知能力」とは何か？領域「言葉」とどのように関連するのかについて、考える。特に、保育者の子どもに対する、「言葉」と「語り」という視点から、講義をすすめていきたい。（横山先生）	高橋 かほる（帝京短期大学 教授） 横山 文樹（東京未来大学 通信教育課程特任教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 13 日	80 人	平 31-80011-508080 号
埼玉県 さいたま市	【保育の質を高める園内研修のあり方】幼稚園において保育の質を高めるためには、1 人 1 人の教員の資質向上とともに、園全体で幼児の育ちを支えるための組織づくりが重要である。本時では、演習をとおして効果的な園内研修の工夫について検討する。（柿沼先生）【子どもの心と言葉】近年、子どもたちの言葉が貧弱になっています。言葉の危機は心の危機です。言葉を豊かに育んでいくためには、どうしたらよいのでしょうか。物語や言葉遊び、わらべ歌等の役割と併せて考えていきます。（佐々木先生）	柿沼 芳枝（東京家政大学 准教授） 佐々木 由美子（東京未来大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 20 日	100 人	平 31-80011-508081 号
山口県 山口市	本講習は、「保育現場での質を高める」ことを目的として、①これから求められる幼稚園教育②一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を③保育者間あるいは保護者との円滑な人間関係などを中心に講義等を行います。	宮里 暁美（お茶の水女子大学 教授） 伊藤 一統（宇部フロンティア短期大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 22 日～ 平成 31 年 7 月 23 日	100 人	平 31-80011-508082 号
兵庫県 神戸市	本講習では、幼稚園教諭を対象とした講習で、保育者の質を高めることを目的としている。幼児教育のプロとして「体験を通して学ぶこと」「質の高い保育をするためにはどのようにしたらよいか」「幼児教育の本質と幼小連携について」を中心に講義をいたします。	原 晋（青山学院大学 地球社会共生学部教授） 中坪 史典（広島大学大学院 教育学研究科・教育学部准教授） 棕田 善之（関西国際大学 教育学部准教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 25 日～ 平成 31 年 7 月 26 日	150 人	平 31-80011-508083 号

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とキャリア

毎月 2 日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

福岡県 福岡市	発達障害の子ども理解と援助・保護者への対応について理解を深めます。 また、特別支援の必要な子どもたち理解と実践として、貧困家庭の子ども・ 帰国子女の子ども・外国籍の子ども・虐待の恐れのある子どもについてもあわせて考えていきたいと思います。	鬼塚 良太郎（九州龍谷短期大学 准教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 30 日	240 人	平 31- 80011- 508084 号
福岡県 福岡市	午前は、幼児・児童の教育は未だ混沌として、非科学的な教育法やフェイク教育が多いのが現状です。この講演では、子どもの脳を適切に育成する科学的な方法を「英才教育」や「受験」、さらには「住環境」などを含めての講習を行います。午後からは、「考え合う・問いかけ合う人材育成のための園内研修の活用」として、同僚性を活かしたチームづくりと、園内研修の理解と実践について講習を行います。	澤口 俊之（武蔵野学院大学 教授） 那須 信樹（中村学園大学 教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 7 日	176 人	平 31- 80011- 508085 号
福岡県 福岡市	「子どもの傍らに立つ専門性を高める」子どもの傍らに立つ保育者の専門性とは何かを明らかにしつつ、その専門性を高めるために何をどう学ぶのかを「保育事例」を元に考え合う講習としたい。	黒田 秀樹（福岡学院大学 非常勤講師）	6 時間	平成 31 年 8 月 21 日	240 人	平 31- 80011- 508086 号
福岡県 北九州市	第 1 講座では「発達の偏りと理解」として、子どもの支援のためには発達をきちんと理解する必要がある。検査を使って子どもの発達を理解するための検査法を学ぶ。第 2 講座では「支援と保育実践」として、発達の偏りを把握したのちに、その子どもには何が必要なのかを考え、実践するとしたらどのような工夫が可能かをグループで話し合って考える。講座となっています。	山田 眞理子（九州大谷短期大学 教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 22 日	120 人	平 31- 80011- 508087 号
宮城県 仙台市	三浦先生の講義では、幼児期の子どもの障がい（主に知的障がい・発達障がい）の特徴とその援助について、気になる子どもを含めたクラス運営など保育現場で行われるインクルーシブな保育について学ぶ。佐野先生の講義では、保育の質に関する理解を深め、質の確保・向上について問う姿勢を養うことをめざす。幼稚園教育要領改訂を踏まえて保育の質を考えるうえで「遊び、生活、教師」3 つのキーワードから考察する。	三浦 主博（東北生活文化大学短期大学 教授） 佐野 裕子（仙台白百合女子大学 特任教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 17 日	200 人	平 31- 80011- 508088 号
宮城県 仙台市	前田先生の講義では、保護者支援について取り上げ、就労、育児不安、貧困、特別な支援を要する子を抱える家庭など、現代の子育て家庭が抱える現状と特徴を理解し、子どもが健やかに育つための家庭支援について考えていく。鈴木先生の講義では、幼稚園の役割を踏まえて近年の様々な問題について学ぶ。その上で、幼稚園教育要領をもとに幼稚園の教育内容について理解を深めていく。	前田 有秀（尚絅学院大学 准教授） 鈴木 純子（仙台青葉学院短期大学 教授）	6 時間	平成 31 年 8 月 18 日	200 人	平 31- 80011- 508089 号
山梨県 甲府市	乳幼児期における造形活動の過程の変化を「素材・画材・道具との関わりと受けとめ」の視点で考えていきたいと思います。特に三歳未満児の「もてあそび」の行為を表出（表現）の観点で見つめて、如何に表現に変容するかを考えてみたいと思います。視点 1：内的発見・・・内的循環による自身（心と体）の発見。視点 2：外的発見・・・環境への関わり、環境から刺激による発見。視点 3：基本技能の展開についての考察。この 3 つの視点から、乳幼児の造形活動における表現の変容について考えてみます。	伊藤 美輝（山梨学院短期大学 保育科・専攻科保育専攻教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 31 日、 平成 31 年 10 月 16 日、 平成 31 年 11 月 13 日	10 人	平 31- 80011- 508090 号
愛知県 名古屋市	やわらかな人間関係づくりー聴く技術を学ぶー幼児との温かい関係を構築するとともに、保護者の思いを受けとめるために、さらに職場での人間関係を温かいものにするために必要な「聴く技術」について学びます。	齋藤 善郎（桐山女子学園大学 教育学部こども発達学科教授）	6 時間	平成 31 年 11 月 2 日	100 人	平 31- 80011- 508091 号
愛知県 名古屋市	保護者支援や保護者との連携は、幼児教育・保育現場において欠かせないことになっています。そこで、保護者を理解するための基礎知識を概説し、様々な視点から考察します。その上で、保護者支援と対応の実践について、グループワークを交えて検討したいと思います。	二村 彩（金城学院大学 人間科学部准教授）	6 時間	平成 31 年 12 月 15 日	100 人	平 31- 80011- 508092 号
愛知県 名古屋市	幼児の健康理解と運動支援／近年、幼児の不規則な生活習慣が心身の発育・発達に影響を与えることが懸念され、子どもの体力・運動能力の低下の問題は、幼児期からの取り組みが重要であると着目されてきている。本講習では、幼児の生活習慣、体力・運動能力に関わる現状と課題について理論的にアプローチしていく。また、幼児期に豊かな体力・運動能力を育ませるための運動遊びを実践を通して探求していく。	花井 忠征（中部大学現代教育学部 教授）	6 時間	平成 31 年 12 月 22 日	100 人	平 31- 80011- 508093 号
高知県 高知市	就学前までに育って欲しい姿を、0 歳児保育から、どのように連続性を果たせるか学びます。また、協同性を育む保育者の援助と役割を学びながら、特別支援教育の在り方についてもあわせて学びます。	吉村 斉（高知学園短期大学 教授） 田代 幸代（共立女子大学 家政学部児童学科教授） 是永 かなこ（高知大学 教育研究部人文社会科学系教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 29 日～ 平成 31 年 7 月 31 日	30 人	平 31- 80011- 508094 号
北海道 札幌市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返り、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	今野 道裕（名寄市立大学 保健福祉学部社会保育学科教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 30 日	250 人	平 31- 80011- 508095 号
北海道 札幌市	幼児教育及び保育について理解と実践をふり返り、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	若林 卓実（認定こども園あけぼの 園長）	6 時間	平成 31 年 7 月 31 日	250 人	平 31- 80011- 508096 号
宮城県 宮崎市	岡先生の講義では、政策動向と関連させながら、なぜ保育の質の向上が求められているのかを理解する。そして、その実現のために園内研修に組織的に取り組むことの必要性、その際に園内研修推進者に求められていることは何かを概観し、園内研修の手法を学んでいく。奥水先生の講義では、乳幼児期からの子どもの育ちが重要であることを踏まえ、子どもたちにどのように育ってほしいかの願いを共有し、日々の保育実践を充実させるための対話のあり方にふれ、園において保育の質の向上を生み出す好循環を生み出す当事者としての意識を醸成する。	岡 健（大妻女子大学 家政学部児童学科教授） 奥水 基（学校法人めぐみ学園認定こども園 阿久根めぐみこども園 園長）	6 時間	平成 31 年 7 月 30 日	100 人	平 31- 80011- 508097 号
千葉県 千葉市	本講習は、国公私立の区別なく、幼稚園教育に携わる教諭の多様なニーズに応じた講習、幼稚園教育における専門的な知識や技能の習得、幼稚園教諭としての資質向上のための意識ある講座とするため①現場に生かす幼稚園教育要領について②理想の教育課程作成についてなどを中心に講義等を行います。	河邊 貴子（聖心女子大学 教授） 太田 光洋（長野県立大学 教授）	6 時間	平成 31 年 7 月 30 日	100 人	平 31- 80011- 508098 号